

日本近世近代史研究

選択 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、日本近世・近代史を主とした修士論文作成のための、調査・研究の方法を身につけることを目的とする。受講者それぞれの研究テーマに関連した論文や史料をテキストとして、受講者で読み合わせながら議論・解釈していく。授業の進め方は、人数とテキスト次第で、適宜輪読形式もしくは担当者による発表形式を取る。

2. 授業の到達目標

受講者各自が修士論文作成を目指して、史料の収集・整理・読解・考察を十分に行えるようになること、また先行研究の理解を深めることを目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

授業での発表や発言、研究に対する姿勢を総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

授業内で提示された次回のテキスト(論文もしくは史料)をよく読み込み、自らの疑問点や論点とすべきところをまとめること。

6. その他履修上の注意事項

日本近世・近代史に関心のある学生の受講が望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------|
| 【第1回】 | 授業の進め方・評価の仕方等についてのガイダンス |
| 【第2回】 | 受講者の関心の所在等についての話し合い／報告順番決定 |
| 【第3回】 | 受講者の研究発表Ⅰ(卒論の紹介もしくは修論の進捗状況)① |
| 【第4回】 | 受講者の研究発表Ⅰ(卒論の紹介もしくは修論の進捗状況)② |
| 【第5回】 | 各自の先行研究・史料所在等の確認作業① |
| 【第6回】 | 各自の先行研究・史料所在等の確認作業② |
| 【第7回】 | 各自の先行研究・史料所在等の補足作業(オンライン) |
| 【第8回】 | 受講者の研究に関する先行研究の講読① |
| 【第9回】 | 受講者の研究に関する先行研究の講読② |
| 【第10回】 | 受講者の研究に関する先行研究の講読③ |
| 【第11回】 | 受講者の研究に関する史料講読① |
| 【第12回】 | 受講者の研究に関する史料講読② |
| 【第13回】 | 受講者の研究に関する史料講読③ |
| 【第14回】 | 受講者の研究発表Ⅱ(研究の進捗状況)① |
| 【第15回】 | 受講者の研究発表Ⅱ(研究の進捗状況)② |